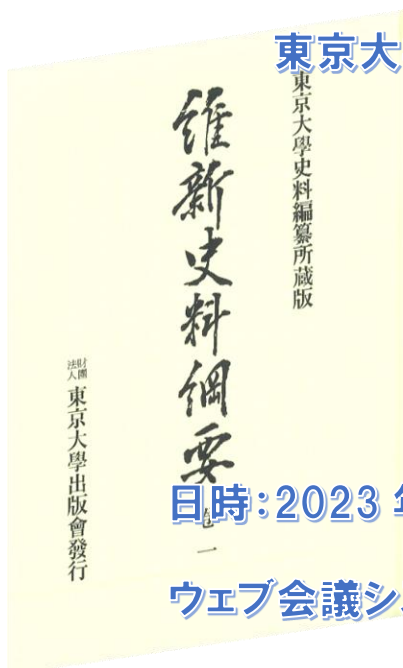


東京大学史料編纂所 国際研究集会

# 維新史料研究 と 国際発信

日時:2023 年 12 月 18 日(月)14:00~16:30

ウェブ会議システム Zoom を用いたオンライン開催



東京大学史料編纂所では、2019 年度から「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」（以下維新ハブ PJ）を開始し、幕末維新史データベース（維新史料綱要 DB）の英訳化や、「大日本維新史料稿本」（4200 冊、90 万コマ）の英語検索による閲覧・公開実現に取り組むと同時に、歴史用語・史料用語の英訳グロッサリー研究も進めています。また、「史談会本」をはじめとした数万点に及ぶ史料編纂所所蔵幕末維新関係史料のデジタルアーカイブ化や海外所在日本関係史料の調査・収集も並行して行っています。

この度、維新ハブ PJ の最終年度を迎えるにあたり、幕末維新期の史料について、昨年度までの翻訳をめぐる議論を踏まえながら改めて検討する国際研究集会を開催します。今回は、英語圏の研究者と日本の研究者とからそれぞれ幕末維新期史料についてご報告いただき、さらに英語圏の研究者 2 名からコメントを頂戴することで、幕末維新期史料論の構築に向けて維新ハブ PJ の成果を発信していきます。

➤ ダニエル・ボツマン（イエール大学教授）

「イエール大学所蔵山田朝右衛門記録から見た幕末維新期の社会変動」（仮）

➤ 保谷徹（東京大学名誉教授）

「維新ハブ PJ の成果と課題－戊辰戦争と維新史料綱要 DB」

➤ コメント

- ・ ルーク・ロバーツ（カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授）
- ・ ロバート・ヘリヤー（ウェイクフォレスト大学教授）

※参加費無料、要事前申込（[こちら](#)）



主催：東京大学史料編纂所／東京大学史料編纂所維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

共催：JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業／JSPS 科学研究費基盤研究（A）

「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」（20H00023）／JSPS 科学研究費基盤研究（B）「日本近世史料学の再構築－基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」（22H00692）